

世界初の温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」プロジェクトに 富士通グループは最先端のITで貢献しています



2009年1月23日に打ち上げられた温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」。地球温暖化防止に向けた国際的な取り組みへの貢献を目的とするこのプロジェクトに、富士通グループは最先端のITを通じて協力しています。

「いぶき」プロジェクトが目指すもの

温室効果ガス観測技術衛星 (Greenhouse gases Observing SATellite:GOSAT) 「いぶき」*は、主要な温室効果ガスであるCO₂とメタンの濃度を宇宙から地球のすみずみまで観測する世界初の人工衛星です。国際社会が温室効果ガスの排出量を削減していくにあたり、世界各地の排出状況を把握することは非常に重要ですが、従来のような地上や航空機からのデータでは、観測地点に偏りがあり数も不十分でした。一方「いぶき」は、従来に比べて地球のほぼ全域にわたる5万6,000点もの観測データを3日毎という高頻度で取得することが可能で、温室効果ガスの監視役として活躍が期待されています。

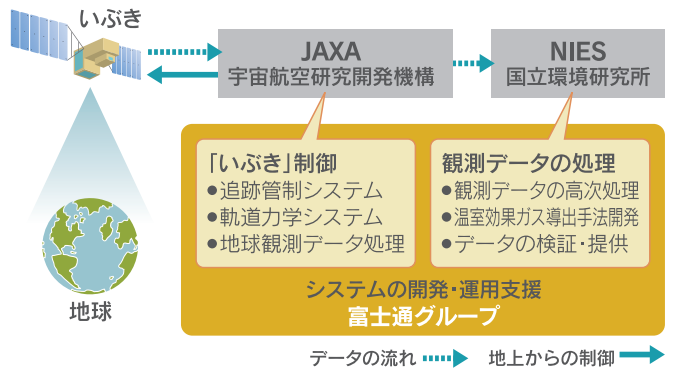


温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」

余り上空にある人工衛星の位置を追跡し、軌道を管制する追跡管制システムや軌道力学システム、また、人工衛星への観測指示と取得された膨大な観測データを管理・保存する地球観測データ処理システム等を富士通が担当しています。

さらに、得られた観測データの処理システムを富士通エフ・アイ・ピーが担当し、観測データをもとにCO₂やメタンの吸収・排出量を算出し、地球全球における温室効果ガスの三次元分布を「見える化」します。

「いぶき」プロジェクトにおける富士通グループの役割



富士通グループのITで地球の未来に貢献

この「いぶき」プロジェクトに、富士通グループは人工衛星の制御や観測データの管理、温室効果ガス分布の「見える化」等、最先端のITで貢献しています。例えば666km

今後も富士通グループは、最先端のITにより地球環境の未来に貢献してまいります。

※「いぶき」プロジェクト

JAXA (宇宙航空研究開発機構)、NIES (国立環境研究所)、環境省による共同プロジェクト

富士通グループはチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

FUJITSU JOURNAL
富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社
マーケティング本部 eマーケティングビジネス部
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2
(汐留シティセンター)
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200
受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。
※本誌は、森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは大豆インキを使用しています。

©富士通株式会社2009 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
Copyright ©2009 by FUJITSU LIMITED

WE0016-2009年4月AP